

東風

HARUKAZE

令和3年12月20日発行

新宮町ICT活用プログラミング教育研修会開催

危険予測・危険回避



中学生が地域防災力の中核になるには①

令和3年12月17日（金）新宮町ICT活用プログラミング教育研修会が本校で開催されました。平江教諭が2年生と共に代表授業を行い、地理的分野で『身近な地域』の学習を行いました。

ICTとしては、電子黒板や一人ひと端末のChromebookの機器を使用します。アプリケーションはPowerPointを、プラットフォームはNTTまなびポケットを、授業支援システムはschoolTaktを活用します。発表の際には、GoogleJamboardも利用します。また、Googlemeetを介して、オンラインで福岡県内外の皆さんへの授業配信も行いました。文部科学省の先生も含め、たくさんの先生方が、2年生の授業を参観されました。学習内容は、新宮町の地形を理解した上で、ハザードマップを参照し、居住地域に適したマイタイムラインを作成・適用していくものでした。

生徒は、「サザエさん家族」のカツオくんかワカメちゃんになったつもりで、対応を検討します。課題である「2日後、新宮町に猛烈な台風が上陸して、非常に激しい雨が降ると予想されます。あなたは防災リーダーとして、どのように対応しますか？」に対し、居住地域グループで考えます。

地域に応じて、様々な現象・状況が考えられるため、各グループで、最適な対応に知恵を絞ります。生徒は、自分たちが地域防災力の中核となるべく、様々なタイムラインを完成させていました。

ご高齢の方々や体の不自由な方々、小さい子どもたちは、できるだけ早いタイミングで安全な所に避難した方がいいことは、多くの皆さん理解しています。しかし、いざ有事となると、なかなか難しいものです。その時、家庭内の防災リーダーである中学生が積極的に声をかけ、「避難スイッチ」を入れることで、ご家族、特にご高齢の方々の避難行動につなげることができます。

今回の授業については、23日（木）の学校安全連絡協議会で、参観の皆様にご意見を伺います。



参観された方から、「生徒たちの積極的な発言や学び合いの姿に感心させられました」等の感想をたくさんいただきました。2年生の真剣で積極的な学習の様子がとてもよかったです。2年生が日に日に成長していることを実感しています。

期間限定アカウント「ドット_レジリエンス(新宮東中.縮災)の取組」継続中です

お困りのことがありましたら、右のアドレスに何なりとご連絡ください。校長が直接メールを受けます。

shjhs.resilience@gmail.com